

第 22 回定期大会宣言

私達は、この国の未来を変える戦争法制は憲法違反とする世論を大きく盛り上げる運動の一翼を担うとともに、会期延長阻止・廃案を求める運動や、社会保障解体、年金破壊の攻撃に反撃する運動を成功させ、司法の場にも運動をひろげる壮大な取り組みの中で、第 22 回大会を開催しました。

大会では 125 万件の個人情報流失事件を起こし、年金訴訟に「移送」申し立てで不当に介入した厚労省の責任の追及と抗議、取り消しを求める運動や、不服審査請求や直訴請願の取組、若者にも歓迎される 100 万署名の取組、年金連続削減制度ともいえる「マクロ経済スライド」の廃止、全国で学習討議を深め情勢認識を一致させ、年金引き下げ違憲訴訟に立ち上がるまでの経験、教訓が語られ、この運動の成果を仲間づくりに結実させる取組が語られました。

こうした運動の中で年金問題の専門組織として年金者組合の重要性がますます大きくなっています。さらに、安倍暴走政治に抗して闘い、憲法守れ、戦争法反対、年金壊すなの運動、安倍内閣退陣を求め奮闘することの必要性が確認されました。

アベノミクスの破綻、国民の声を聴かない暴走政治に国民が反発し政権を追い詰めています。基地はいらぬオール沖縄の運動、大阪都構想 NO のオール大阪の運動など要求の一致に基づく一点共闘の発展は国民に確信と希望を与えています。

私たちは仲間の絆を強めながら、地域のさまざまな団体・個人と手をつなぎ、現役世代と団結し、「若者も高齢者も安心の年金」や「最低保障年金」の実現を求め、反動政治打破、要求実現の運動をおおきく発展させるとともに、全市町村に支部を、20 万人をめざす仲間づくり・まちづくりの運動を結合し、「総合 6 か年計画」を達成するため組織の総力を挙げて奮闘します。

以上宣言します。

2015 年 6 月 18 日

全日本年金者組合第 22 回定期大会